

第6章 結論および勧告

第6章 結論および勧告

2003年3月～6月まで実施した、3アイマグを対象とした「概定計画の策定」のための調査、2003年7月～2004年2月まで実施した、ドルノゴビアアイマグを対象とした「詳細計画の策定」のための調査、および2004年3月～2006年1月まで実施した3ソムにおける「実証調査」の結果を踏まえて、以下の通り勧告する。

ここに記述されている提言のうち、(1)、(3)、および(4)は、草原の植生区分において「Desert-Steppe」が多くを占める地域での井戸整備に適応することができる。また、(2)、(5)、(6)、(7)、(8)、および(9)は井戸整備における基本的事項であり、全国に適用可能である。

(1) 井戸整備の早期実現の必要性

ゴビ地域の多くの人々の生活は牧畜業に依存し、適切な牧畜業はゴビ地域の環境を保全し、地方牧畜業の発展はモンゴル国の発展にも不可欠である。

水源を地下水に求めざるを得ない「ゴビ地域」にとって、井戸は人にとっても家畜にとっても生存の基礎である。ゴビ地域では井戸の荒廃が進行したために地域の持つ草地資源を有効に活用できない状況が続いており、家畜を安定的に飼養していくためには、将来を見通した草原管理・井戸整備が必要である。

機械式井戸はもちろんのこと、安定した水量を確保できる、構造的にも安定した、深い手掘り式井戸の建設は牧民と地方行政の能力を超えており、ここに公的資金による援助の必要性がある。また、個々の牧民が独自に井戸整備することは、秩序ある草原利用の破壊にも繋がる危険性があり、ここに公的機関が関与する必要性がある。

本調査で提案している草原管理・井戸整備計画は、草地資源と地下水のポテンシャルをベースにして、未利用・低利用草地の開発と井戸の効率的利用という観点から立てられている。これらの計画の早期実現を図るべく、モンゴル政府が関係機関に働きかけることを勧告する。

これらの事業の実施は、Grant Aid、Soft Loan あるいはモンゴル国の資金のいずれの方法でも可能である。考慮すべき点は、モンゴルは受益者による工事費の一部負担方式を決めたがこの方式での実績が乏しいこと、また効果的な井戸の維持管理を実現していくためには井戸利用グループの組織化が極めて重要であること、そしてこの組織化には多くの時間を要するという点である。したがって、井戸整備の事業化にあたっては、これらのソフトコンポーネントの業務を充実させる必要がある。

またゴビ地域での井戸整備においては、提言(3)、(4)で記述するようなゴビ地域としての特色があることから、井戸整備の予算を現地に配分するときには、各ソムに少しずつ分散するのではなく、あるまとまった地域にまとめて集中させるほうが効果的である(5.6アクションプラン参照)。

(2) 井戸の維持管理の重要性

一度国家予算で整備された井戸に対して再び国家予算がつくことはない。また機械式井

戸に設置されるポンプや発電機には一定の耐用年数があり、これらは適切に使われなければ簡単に故障する。さらに機材が故障して、これをソム内で修理できない場合は機材をウランバートルのメーカー（あるいは代理店）に送る必要も出てくるが、ゴビ地域は遠隔地にあり、修理のためには多くの時間と費用を要する。牧民が維持管理に対応できなければ、多大の投資をしてようやく得られた井戸が利用不能になる。

このように、とりわけ遠隔地のゴビ地域においては、井戸の維持管理は極めて重要である。ともすると関係者は井戸の建設に目を奪われがちであるが、井戸の建設と井戸の維持管理を一体として考えなければならない。

井戸の維持管理のためには、維持管理の責任を負う牧民の組織化を進める必要があり、そのための、行政の人材の育成と、牧民の組織化を支援する必要がある（5.5 人材育成コンポーネント参照）。

また、初期段階から井戸機材の維持管理を牧民グループだけで行うのは技術的に困難である。このため、井戸機材の維持管理に対応できる技術者を各ソム役場で育成し、スペアパーツをソム役場がストック、販売するなど、グループの井戸維持管理活動をソム役場が支援する仕組みの形成が井戸整備と並行して実施される必要がある（図 5.2.8 参照）。

(3) ゴビ地域に特徴的な草原管理・井戸整備

特に気象変動の大きいゴビ地方では、草原の生育状況は毎年変動するため、整備した井戸の周辺の草原を毎年安定して利用できるとは限らず、この井戸を離れて遠くに家畜を誘導することになる可能性が高い。このため、ゴビ地域の家畜遊動圏は極めて広くなるのが特徴的であり、年間に使用する井戸の数も多くなる。従って、これら複数の井戸を地域として効率よく使用できるようなシステムが望ましい。

一つの牧民グループが占有する井戸の他に、特に緊急時において、他の牧民グループ所有の井戸を支障なく利用できるようにするためには、これらの井戸所有グループがお互いに井戸利用の取り決めを結んで置くような、広域での井戸利用を管理するシステムが必要となる。つまり、「グループ占有の井戸利用から広域の井戸利用の連携」へと発想を転換していく必要がある。これら井戸利用の調整の責務を負うのはソム役場以外にはない。

ソム役場は常にソム全域における牧民の井戸利用を把握できるように、ソムの基本図に牧民の利用する井戸を記した図面を備えておく必要がある。

(4) ゴビ地域における草原の私有化問題

提言(3)に記述したように、ゴビ地域の草原の植生状態はわずかな気象条件によって極めて変動しやすく、実際にソムの範囲を超える草原利用が頻発している。このような地域において草原を私有化する規制を設けても、牧民がこの草原利用規制に従うことは実際には不可能である。

(5) ソム管理による井戸整備計画の必要性

牧民グループは現在の家畜遊動圏内あるいはこれに近接したところに新規の井戸を求める傾向があり、井戸整備が必ずしもソムが求める未利用・低利用草原の開発には結びつかないこともある。

2005年7月に施行された「井戸整備に関する規則」では、地方行政も井戸の申請者になることができる。ソムとして早魃やゾド対策上必要とする井戸について、牧民グループがその利用を希望しなかった場合には、ソムが管理する井戸として計画することも検討されるべきである。ソムの管理能力からこの井戸数は2~3カ所に限定され、この場合の工事費負担金は、「ソム井戸基金」への出資者の合意の下に、この基金から出資することも、国が負担することも選択肢である。

これらの井戸の利用に当たっては、利用者負担の下に行われることを原則とし、ソムは井戸の利用料金、管理方法を定めて、アイマグに通知する。アイマグは、これらの情報を整理して、各ソム間にておいて大きな差がある場合にはその理由を確認し、必要に応じて変更を求めることができる。

(6) 牧民による工事費の一部負担の広報について

国の方針は、井戸の建設に先立って井戸の利用者に建設費用の一部負担を求めている。即ち建設主体としては、最初からこの牧民負担部分を予算に計上できる一方で、井戸利用者としては、この費用を一括して支払わなければならない。

この費用を直ちに負担できる牧民グループは限られている。従って、井戸の建設を希望する地方自治体は井戸利用を希望する牧民グループを選定し、グループは費用の積立てを速やかに開始すべきである。求められる負担金を積み立てたところで、ソムは井戸の建設要請をしかるべき機関に申請することになる。

国としては、井戸整備の予算を確保したとしても、牧民グループのほうで負担金の準備ができていなければ、工事を進めることができなくなるので、井戸整備における新たな取り組みを広く広報して、井戸利用グループの結成とグループによる建設資金の積み立てを全国的な運動として広げていくことが望ましい。

(7) 維持管理体制構築の必要性

牧民は機械式井戸の取り扱いには慣れていない。井戸の操作を継続して行くうちに牧民の能力以上の操作が必要となり、トラブルが起きるのは必至である。このようなトラブルを現地で解決できればこれが最適であり、井戸整備計画の中に、維持管理体制の構築を組み込むことが必要である。

維持管理体制においては、ソム役場が中心的な役割を果たすことになる。ソム役場が簡単な修理はソム内でできるように適当な人間を訓練し、修理に必要な部品などはソムに常備しておく。ソム内で対応できないような修理についてはアイマグの井戸掘削会社の協力を仰ぐ。

国とアイマグがこのような体制づくりを組織的に実施することを勧告する。

(8) 「ソム井戸基金の創設」の必要性—持続的な井戸の維持管理に向けて—

以上のような各施策をソム役場が実施していく上で、ソム役場にこのような予算の無いことが大きな問題である。

この解決策として、牧民が井戸建設時の正規の負担金に少し上乗せした金額をソムに支払い、この中からソム役場が国に井戸建設に伴う負担金を支払った残金を利用して「ソム井戸基金」を創設することを推奨する。

「ソム井戸基金」は、牧民が出資した井戸のフォローを含めて、ソム全体の井戸整備のために使われる。ソムに資金的な裏付けができることから、ソムはより実効性のある井戸整備を進めることができる。

(9) 地方行政における行政能力の重要性

実証調査で取り上げた小規模牧畜業プロジェクトは、いずれも1~2カ所の井戸整備に要する費用で実施可能であり、融資事業はその費用もソムに還元されるので、実質的な出費はそれよりも少なくなる。

地方行政の能力が足りなければ、いかなるプロジェクトを実施しても、その成功は危惧される。プロジェクトの企画を通じてソムの行政能力は高まり、プロジェクトの実施によってソムは活性化する。一つのプロジェクトの成功によって、ソムは更なる発展を志向していく。小規模事業の内容は多種多様であり、それぞれのソムで対応可能なプロジェクトも多くあると思われる。これらの実施によって地方（ソム）を活性化させることを国としても検討していくべきである。

この一方で、あるバグでは牧民から家畜の出資を募り、この運用で得られる資金を活用して牧民の生活の安定化を図っている。手掘り井戸の整備を推進していくためには、牧民により密着したバグの能力強化が必要であることも実証調査を通じて明らかとなった。地方としても、現在のソムやバグの能力で何ができるについて、具体的に検討して行く必要がある。

(10) GISデータの更新と拡大

本調査でゴビ3県における草原および水源に関するGISデータの整備が実施された。

このデータのうち、井戸は施設状態や管理者、利用状態など毎年データの更新を行う必要がある。これらデータは各ソムが責任を持って収集し、アイマグ農政局が集約することが望ましい。

また、他のアイマグにおいても同様の資料を整理し、GISを活用した計画策定を実施して行く必要がある。

(11) 実証プロジェクトのフォローについて

実証プロジェクトはいずれも現在進行中である。ソムは各グループのプロジェクト進捗

状況をよくモニタリングして、問題があれば軌道修正していく必要がある。

実施主体となっているソムは定期的にプロジェクトの状況をアイマグに報告するとともに、アイマグもこれらについて定期的に調査する必要がある。

添付資料

添付資料 - 1

調査実施細則および協議議事録

SCOPE OF WORK
FOR

THE STUDY
ON

IMPROVEMENT PLAN OF LIVESTOCK FARMING SYSTEM IN RURAL AREA IN
MONGOLIA

AGREED UPON BETWEEN

MINISTRY OF FOOD AND AGRICULTURE

AND

THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

ULANBAATAR, OCTOBER 3, 2002

A - 1

I INTRODUCTION

In response to a request from the Government of Mongolia (hereinafter referred to as the "GOJ"), the Government of Japan (hereinafter referred to as the "GOJ") has decided to conduct the Study on Improvement Plan of Livestock Farming System in Rural Area in Mongolia (hereinafter referred to as "the Study") in accordance with the relevant laws and regulations in force in Japan.

Accordingly, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the official agency responsible for the implementation of the technical cooperation programs of the GOJ, will undertake the Study in close cooperation with the authorities concerned of the GOJ.

The present document sets forth the Scope of Work for the Study.

II OBJECTIVE OF THE STUDY

The objectives of the Study are:

1. To formulate a plan of actions to utilize pastureland and to manage wells for mitigating overgrazing situation, and thus contribute to the alleviation of damages caused by dzud and to the stabilization of livestock farming.
2. To carry out technology transfer to Mongolia counterparts through on-the-job training in the course of the Study.

III. STUDY AREA

The Study will cover the priority area(s) in aimgs of Gobi and Steppe zone.

IV SCOPE OF THE STUDY

In order to achieve the above objectives, the Study shall consist of three (3) phases and shall cover the following items:

1. Phase I
<Main issue>
 - Collection and analysis of basic data
 - Formulation of the plan for pasture utilization system and of the plan for construction, rehabilitation, and maintenance of wells in line with the plan for pasture utilization system.


<Study item>

1) Diagnostic Analysis

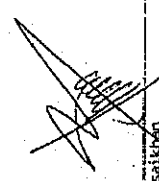
1)-1 to select the three (3) aimgs as survey area,

1)-2 to review of livestock farming development policy, plan, and project,

1)-3 to carry out field survey and collecting data such as natural condition, social condition, pastoral production, distribution condition, economic condition


Mr. P. Dandondorj
State Secretary,
Ministry of Food and Agriculture

Witnessed by


KH. Amarsaikhan
Director General,
Economic Cooperation, Management and
Coordination Department,
Ministry of Finance and Economy

- 1 -

- 2 -



of herders, activities of herders, and others,

- 1)-4 to recognize present surrounding condition of livestock farming,
- 2) Formulation of the plan for pastureland utilization system
- 2)-1 to analyze the present condition of pasturing capacity and overgrazing.
- 2)-2 to collect the information of pasture land management.
- 2)-3 to analyze the appropriate pasture utilization system and control method for appropriate number of livestock,

3) Formulation of the plan for construction, rehabilitation, and maintenance of wells in line with the plan for pasture utilization system,

- 3)-1 to analyze the present condition of wells and its utilization by herders,
- 3)-2 to collect the information of hydrogeological condition,
- 3)-3 to analyze the operation and maintenance system of wells,
- 3)-4 to propose the areas for well construction and rehabilitation,

A-2

2. Phase II
<Main Issue>
- Formulation of the detailed plan for sustainable livestock farming management system (include pasture utilization system)
- Formulation of the detailed plan for construction, rehabilitation, and maintenance of wells in line with the plan for pasture utilization system
<Study item>
2-1 to select the detailed survey area (equivalently one (1) aimag),

- 2-2 to plan and implement exploration (geophysical and hydrogeological surveys) for wells, and thus identify the types and locations toward their construction,
- 2-3 to estimate construction and rehabilitation cost,
- 2-4 to prioritize the wells for their construction and rehabilitation,
- 2-5 to select areas for the experimental study based on criteria set during the study,
- 2-6 to clarify the components of experimental study.

3. Phase III
<Main Issue>
- Implementation of the experimental study with following purposes:
a. to verify the validity of the plan for pastureland utilization system and for operation and maintenance of wells.
b. to enhance skills of Mongolian counterpart personnel and

K.A. P.D.

others for the effective pastureland utilization and for operation and maintenance of wells.

- c. to strengthen the administrative systems of the organizations concerned.

<Study item>

- 3-1 to implement the experimental study for the components clarified in Phase II,
- 3-2 to monitor and evaluate the process of activities for the experimental study,
- 3-3 to formulate the final report.

V STUDY SCHEDULE

The Study will be carried out in accordance with the attached tentative schedule (ANNEX). The schedule is to be modified when both sides agree upon any necessity that will arise during the course of the Study.

VI REPORTS

JICA shall prepare and submit the following reports in English to the GOM:

- 1 Inception Report
Twenty (20) copies in English at the commencement of the Phase I.
- 2 Interim Report 1
Twenty (20) copies in English at the commencement of the Phase II.
- 3 Progress Report 1
Twenty (20) copies in English at the end of the Phase II.
- 4 Interim Report 2
Twenty (20) copies in English at the commencement of the Phase III.
- 5 Progress Report 2
Twenty (20) copies in English during the course of the Third phase of work.
- 6 Draft Final Report
Twenty (20) copies in English after the end of third phase of work in Mongolia. The GOM shall provide JICA with its comments on the Draft Final Report within one (1) month of receipt of the Draft Final Report.
- 7 Final Report
Fifty (50) copies in English within two (2) months of receipt of GOM comments on the Draft Final Report.

VII UNDERTAKINGS OF THE GOVERNMENT OF MONGOLIA

- 1 To facilitate smooth conduct of the study, the GOM shall take necessary measures:

Jg P.D.

- 4-1 available data and information related to the Study,
- 4-2 counterpart personnel,
- 4-3 suitable office space with necessary equipment and furniture in Ulaanbaatar and survey sites, and
- 4-4 credentials or identification cards.

VIII UNDERTAKINGS OF JICA

- For the implementation of the Study, JICA shall take the following measures:
- 1 to dispatch, at its own expense, study team to Mongolia.
 - 2 to pursue technology transfer to Mongolian counterparts in the course of the Study.

IX CONSULTATION

JICA and SPPD shall consult with each other in respect of any matter that may arise from or in connection with the Study.

- 1-1 to secure the safety of the Japanese study team,
- 1-2 to permit the members of the Japanese study team to enter, leave and sojourn in Mongolia for the duration of their assignment therein, and exempt them from foreign registration requirements and consular fees,
- 1-3 to exempt the members of the Japanese study team from taxes, duties, fees and any other charges on equipment, machinery and other materials brought into Mongolia for the conduct of the Study
- 1-4 to exempt the members of the Japanese study team from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with any emoluments or allowances paid to the members of the Japanese study team for their services in connection with the implementation of the Study,
- 1-5 to provide necessary facilities to the Japanese study team for the realisation as well as utilization of the funds introduced into Mongolia from Japan in connection with implementation of the Study,
- 1-6 to secure permission for entry into private properties or restricted areas for the implementation of the Study,
- 1-7 to secure permission for the Japanese study team to take all data and documents (including photographs and maps) related to the Study out of Mongolia to Japan,
- 1-8 to provide medical services as needed. Its expenses will be chargeable on the members of the Japanese study team,
- 1-9 to provide necessary facilities to the Japanese study team for unrestricted re-export of equipment and machinery brought into Mongolia for the conduct of the Study,
- 1-10 to secure permission to use walkie-talkies and other wireless telecommunications for execution of the field study,
- 1-11 to provide services of liaison staff, local guides, laborers, drivers, fuel, rent-a-car, etc.

2. The Government of Mongolia shall bear claims, if any arises, against the members of the Japanese study team resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with, the discharge of their duties in the implementation of the Study, except when such claims arise from gross negligence or willful misconduct on the part of the members of the Japanese study team.

3. The Strategic Planning and Policy Department of the Ministry of Food and Agriculture (hereinafter referred to as "SPPD") shall act as counterpart agency to the Japanese study team and also as coordinating body in relation with other governmental and non-governmental organizations concerned for the smooth implementation of the Study.

4. SPPD shall, at its own expense, provide the Japanese study team with the following, in cooperation with other organizations concerned:

K.A. P.D.

K.A. P.D.

MINUTES OF MEETING
 FOR
 THE STUDY
 ON
 IN
 MONGOLIA
 IMPROVEMENT PLAN OF LIVESTOCK FARMING SYSTEM IN RURAL AREA

AGREED UPON BETWEEN
 MINISTRY OF FOOD AND AGRICULTURE
 AND
 THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

ULANBAATAR, OCTOBER 3, 2002

K. Hanita
 Mr. Kiichi Hanita
 Leader,
 Preparatory Study Team,
 Japan International Cooperation Agency

P. Damdiyandj
 Mr. P. Damdiyandj
 State secretary,
 Ministry of Food and Agriculture

TENTATIVE SCHEDULE

ANNEX

MONTH	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
PHASE	Phase I			Phase II						Phase III												
WORK IN MONGOLIA	▨			▨						▨						⊙						
WORK IN JAPAN	□			□						□						□						
REPORT	△ I/R	△ I/R(2)	△ I/R(1)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)	△ I/R(2)

(Remarks)
 I/R: Inception Report
 I/R(1): Interim Report 1
 I/R(2): Interim Report 2
 D/R: Draft Final Report
 P/R(1): Progress Report 1
 P/R(2): Progress Report 2
 F/R: Final Report
 ⊙: Comments on D/R by the Mongolian side

Handwritten signature

K.H. P.D.

I. INTRODUCTION

In response to a request from the Government of Mongolia (hereinafter referred to as "GOM"), the Preparatory Study Team (hereinafter referred to as "the Team") headed by Mr. Kiichi NARITA was sent to Mongolia by the Japan International Cooperation Agency from 23 September to 11 October, 2002.

The team held a series of discussions in relation to the Scope of the Study on Improvement Plan of Livestock Farming System in Rural Area in Mongolia (hereinafter referred to as "the Study") with representatives of the Ministry of Food and Agriculture (hereinafter referred as "MOFA") and other relevant organizations. The list of participants in the series of meetings is attached as ANNEX 1. The following were agreed upon by both Mongolia and Japanese sides in relation to the Study.

II. RESULTS OF DISCUSSIONS

1. Title of the Study

Both sides agreed that the title of the Study should be changed from "The Study on Improvement of Water Supply Source in Rural Areas" to "The Study on Improvement Plan of Livestock Farming System in Rural Area"

2. Study Area

Both sides confirmed that the study area covers three (3) Aimags in Phase I, one (1) Aimag in Phase II, and a few soums in Phase III. MOFA will inform JICA of their priority areas (3 Aimags) by the end of February, 2003.

3. Study Schedule

MOFA requested to start the Study as early as possible. MOFA also requested to implement Phase III study as early as possible.

4. Steering Committee

for the smooth and effective implementation of the Study, both sides agreed upon the need for establishment of a steering committee chaired by MOFA in the course of the Study. Expected participants of the steering committee are as follows:

- (1) Ministry of Food and Agriculture
- (2) Ministry of Finance and Economy
- (3) Other relevant research institutes for animal husbandry and

hydrogeology

- (4) Embassy of Japan in Mongolia
- (5) JICA Mongolia Office
- (6) JICA Study Team

5. Counterpart organization and personnel

- (1) Both sides confirmed that the Strategic Planning and Policy Department is responsible for coordinating and implementing the Study with the assistance by the Study team and JICA.
 - (2) MOFA promise to assign the necessary number of counterparts for the Study Team.
6. Counterpart Training in Japan
- MOFA requested the training of counterpart(s) on specific relevant subjects in Japan for the efficient implementation of the Study. The team promised to convey it to the JICA headquarters in Tokyo.

7. Reports

- (1) Both sides confirmed that the final report of the Study would be opened to the public.
 - (2) MOFA requested that final report would be made both in English and Mongolian. The team promised to convey it to the JICA headquarters in Tokyo.
8. Equipment and Facilities
- MOFA promised to provide the Study team with a suitable office space within the buildings of MOFA and Aimag centers and to make its best effort to provide desks, chairs and telephones in the office.
- MOFA requested JICA to support following equipments and materials for the Study. The team promised to convey it to the JICA headquarters in Tokyo.

- Vehicle and relevant equipments
- Photocopy machine
- Personal computers and printers
- Other necessary equipments for the Study

9. Maps

MOFA requested to make maps of pasture capacity, grazing and location of water wells for three (3) Aimags which will be covered in Phase I

K. N. P.D.

K. N. P.D.

Study.

10. Others

Both side confirmed that the detailed contents and method of the study (i.e. how to implement geophysical and hydrogeological surveys and so on) will be explained by Inception Report.

ANNEX

LIST OF PARTICIPANTS

Mongolian Side

Ministry of Food and Agriculture

Mr. P. Damdindorj

Mr. Davaadorj Gochoo

Mr. Damdindorj Batmunkh

Ms. T. Erdenejargal

State Secretary

Director, Strategic Planning and Policy Department

Senior Officer, Policy Implementation and Coordination

Department

Asia desk officer, External Relations and Cooperation Division

Japanese Side

Preparatory Study Team

Mr. Kiitichi NARITA

Mr. Yusuke TADA

Mr. Akira KAMATA

Mr. Hitoshi FUJIE

Ms. Makiko KAITO

Leader, Herder's organization

Member, Livestock farming / Pasture land

Member, Ground water / Well management

Member, Project planning / Preliminary evaluation

Member, Interpreter

JICA Expert

Mr. Yukio SUZUKI

JICA Expert, Ministry of Food and Agriculture

JICA Mongolia Office

Mr. Akira SHIMIZU

Assistant Resident Representative, JICA Mongolia Office

添付資料 - 2

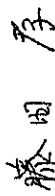
協議議事録

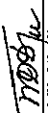
- (1) Inception Report
- (2) Interim Report (1)
- (3) Progress Report (1)
- (4) Interim Report (2)
- (5) Progress Report (2)
- (6) Progress Report (3)
- (7) Progress Report (4)
- (8) Draft Final Report

Inception Report


MINUTES OF MEETING
ON
INCEPTION REPORT
FOR
THE STUDY FOR IMPROVEMENT PLAN OF LIVESTOCK FARMING SYSTEM
IN RURAL AREA
IN MONGOLIA
AGREED UPON BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)
AND
MINISTRY OF FOOD AND AGRICULTURE MONGOLIA

Ulaanbaatar,
April 3, 2003


Takashi FUJITA
Leader
Study Team
Japan International Cooperation
Agency (JICA)


DAMDINDORJ Puntsagdorj
State Secretary
Ministry of Food and Agriculture,
MONGOLIA

Witnessed by


Hitoshi FUJIE
Agricultural Development
Study Division
Japan International Cooperation
Agency (JICA)

In accordance with the Scope of Work for the Study for Improvement Plan of Livestock Farming System in Rural Area in Mongolia (hereinafter referred to as "the Study"), the Government of Japan, through Japan International Cooperation Agency (JICA), dispatched to Mongolia the Study Team, headed by Mr. Takashi FUJITA, for the implementation of the Study. At the commencement of the Study, the Study Team submitted officially twenty (20) copies of the Inception Report in Mongolian language and five (5) copies in English explained the basic concepts, methodology and schedule of the Study in the presence of Mongolian organizations represented by the Ministry of Food and Agriculture, Mongolia, (MOFA) on April 3, 2003 at the Head office of MOFA.

Prior to the discussion on the Inception Report, the following issue was confirmed regarding the request from the Ministry of Food and Agriculture Mongolia:

The Study Area in Phase-I study were selected in three (3) Aimaags such as Dundgovi, Dornogovi and Omnogovi.

As a result of explanation and exchange of opinions on the Inception Report, the Mongolian side and Japanese side agreed upon the following points:

1. The Mongolian side accepted that the contents of the Inception Report were prepared in due compliance with the conditions set forth in the Scope of Work for the Study and agreed that the Study Team would proceed to the next stage of the Study in accordance with the methodology and schedule mentioned in the Inception Report.
2. The Mongolian side confirmed that suitable office space, with necessary equipment and furniture in the office of MOFA, would be provided by the Mongolian side as mentioned in the Scope of Work.
3. The both sides agreed to collaborate with each other for the efficient implementation of the Study so that the objectives of the Study be attained as described in the Scope of Work for the Study.
4. Upon the request of the Study Team, the Mongolian side agreed to nominate necessary counterparts for each member of the Study Team.



Inception Report

ANNEX

LIST OF PARTICIPANTS

Mongolian Side

Ministry of Food and Agriculture

Mr. P. DAMDINDORJ

Dr. G. DAVAADORJ

Mr. Ch. PUNTSAGSUREN

Dr. D. BATMUNKH

Ministry of Finance and Economy

Ms. L. NASANBUYAN

Mongolian Academy of Sciences Institute of Geocology

Dr. N. JADAMBAA

B
2

Japanese Side

Study Team

Mr. FUJITA Takashi

Mr. YAMAMOTO Norihumi

Mr. HIROSHIGE Hideki

JICA Headquarters

Mr. FUJIE Hiroshi

JICA Mongolia Office

Mr. TSURUHARA Toshiyasu

Ms. A. SAIKHANTUYA

5. Upon the request of the Study Team, the Mongolian side agreed to take responsibility for obtaining the reports, data and other information required for the Study.

6. The Mongolian side requested preparation of Maps, which will be printed from GIS, and the Study Team agreed to decide the contents of GIS database and maps based on the discussion between the both sides, including pasture capacity, grazing and location of water wells.

7. The both sides agreed that one candidate Aimag would be selected for Phase-II Study Area based on the criteria decided through careful discussions between the both sides.

8. The Mongolian side requested to conduct a counterpart training in Japan during the Study period, and the Study Team promised to convey that request to the JICA headquarter.

H.F

P.D.

H.F

P.D.

Interim Report (1)


MINUTES OF MEETING
ON
INTERIM REPORT
FOR
THE STUDY FOR IMPROVEMENT PLAN OF LIVESTOCK FARMING SYSTEM
IN RURAL AREA
IN MONGOLIA
AGREED UPON BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)
AND
MINISTRY OF FOOD AND AGRICULTURE MONGOLIA

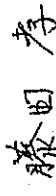
In accordance with the Scope of Work for the Study for Improvement Plan of Livestock Farming System in Rural Area in Mongolia (hereinafter referred to as "the Study"), the Government of Japan, through Japan International Cooperation Agency (JICA), dispatched to Mongolia the Study Team, headed by Mr. FUJITA Takashi, for the implementation of the Study. At the commencement of the Study, the Study Team submitted officially twenty (20) copies of the Interim Report in Mongolian language and five (5) copies in English explained a) the contents and results of Phase-I Study, b) the preliminary draft of Improvement Plan, c) Study Area in Phase-II, and d) the basic concepts, methodology and schedule of the Study in Phase-II in the presence of Mongolian organizations represented by the Ministry of Food and Agriculture, Mongolia (MFA), on August 6, 2003 at the Head office of MFA.

As a result of explanation and exchange of opinions on the Interim Report, the Mongolian side and Japanese side agreed upon the following points:

1. The Mongolian side accepted that the contents of the Interim Report were prepared in due compliance with the conditions set forth in the Inception Report and agreed that the Study Team would proceed to this stage of the Study in accordance with the methodology and schedule mentioned in the Interim Report.
2. The Mongolian side agreed that Dornogobi Aimag was selected for Phase-II Study Area based on the criteria decided through careful discussions between the both sides.

Ulaanbaatar,
August 8, 2003


N. BTSUURI Nantsag
State Secretary
Ministry of Food and Agriculture,
MONGOLIA


FUJITA Takashi
Leader
Study Team
Japan International Cooperation
Agency (JICA)

Interim Report (1)

ANNEX

LIST OF PARTICIPANTS

Mongolian Side

Ministry of Food and Agriculture

Mr. N. BITSUJIRI Nanisag

Mr. Ch. PUNTSAGSUREN

Dr. D. BATMUNKH

State Secretary

Head of Water Policy and Coordination Division,

Strategic Planning and Policy Department

Senior Officer, Strategic Planning and Policy

Department

Japanese Side

Study Team

Mr. FUJITA Takashi

Mr. KOGA Naoki

Mr. AYURZANA Enkh-Angalan

Ms. ISHIKAWA Akemi

Mr. YAMAMOTO Norihumi

Mr. HIROSHIGE Hideaki

Team Leader/ Agro-pastoralism Development Planner

Animal Science and Steppe Management Expert

Nomadic Pastoralism Socio-Economy Specialist

Pastoralist Organization Specialist

Hydrogeologist-1/ Water Quality Specialist

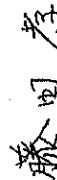
GIS Expert/Coordinator


Progress Report (1)

MINUTES OF MEETING
ON
PROGRESS REPORT (1)
FOR
THE STUDY FOR IMPROVEMENT PLAN OF LIVESTOCK FARMING SYSTEM
IN RURAL AREA
IN MONGOLIA

AGREED UPON BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)
AND
MINISTRY OF FOOD AND AGRICULTURE MONGOLIA

Ulaanbaatar,
December 26, 2003


FUJITA Takashi
Leader
Study Team
Japan International Cooperation
Agency (JICA)


G. DAVADORJ
Director /
Strategic Planning and
Policy Department
Ministry of Food and Agriculture,
MONGOLIA

In accordance with the Scope of Work for the Study for Improvement Plan of Livestock Farming System in Rural Area in Mongolia (hereinafter referred to as "the Study"), the Government of Japan, through Japan International Cooperation Agency (JICA), dispatched to Mongolia the Study Team, headed by Mr. FUJITA Takashi, for the implementation of the Study. At the end of the field survey of the Phase II of the Study, the Study Team submitted officially twenty (20) copies of the Progress Report (1) in Mongolian language and five (5) copies in English explained a) the contents and results of Phase-II Study, b) the draft of Improvement Plan in Dornogobi Aimag, c) the plan and preliminary results of Pilot Study Area in Phase-III, and d) the basic concepts, methodology and schedule of the Study in Phase-III in the presence of Mongolian organizations represented by the Ministry of Food and Agriculture, Mongolia (MFA), on December 25, 2003 at the Head office of MFA.

As a result of explanation and exchange of opinions on the Progress Report (1), the Mongolian side and Japanese side agreed upon the following points:

1. The Mongolian side accepted that the contents of the Progress Report (1) were prepared in due compliance with the conditions set forth in the Inception Report
2. The Mongolian side agreed that the Study Team would proceed to the next stage of the Study in accordance with the methodology and schedule mentioned in the Progress Report (1).

ANNEX

LIST OF PARTICIPANTS

Mongolian Side

Ministry of Food and Agriculture

Dr. G. DAVAADORJ

Mr. Ch. PUNTSAGSUREN

Dr. D. BATMUNKH

Director, Strategic Planning and Policy Department
Head of Water Policy and Coordination Division,
Strategic Planning and Policy Department
Senior Officer, Strategic Planning and Policy
Department

Japanese Side

Study Team

Mr. FUJITA Takashi

Mr. KOGA Naoki

Ms. ISHIKAWA Akemi

Mr. HIROSHIGE Hideki

Team Leader/ Agro-pastoralism Development Planner
Animal Science and Steppe Management Expert
Pastoralist Organization Specialist
GIS Expert/Coordinator

MINUTES OF MEETING
ON
INTERIM REPORT (2)
FOR

THE STUDY FOR IMPROVEMENT PLAN OF LIVESTOCK FARMING SYSTEM
IN RURAL AREA
IN MONGOLIA

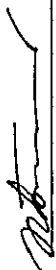
AGREED UPON BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)
AND
MINISTRY OF FOOD AND AGRICULTURE MONGOLIA


Ulaanbaatar,
19 March, 2004

In accordance with the Scope of Work for the Study for Improvement Plan of Livestock Farming System in Rural Area in Mongolia (hereinafter referred to as "the Study"), the Government of Japan, through Japan International Cooperation Agency (JICA), dispatched to Mongolia the Study Team, headed by Mr. FUJITA Takashi, for the implementation of the Study. At the commencement of the Study, the Study Team submitted officially twenty (20) copies of the Interim Report (2) in Mongolian language and five (5) copies in English and explained a) the contents and results of Phase-II Study, b) the Improvement Plan, and c) the basic concepts, methodology and schedule of the Study in Phase-III in the presence of Mongolian organizations represented by the Ministry of Food and Agriculture, Mongolia (MFA), on 17 March, 2004 at the Head office of MFA.

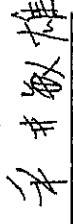
As a result of explanation and exchange of opinions on the Interim Report (2), the Mongolian side and Japanese side agreed upon the following points:

1. The Mongolian side accepted that the contents of the Interim Report (2) were prepared in due compliance with the conditions set forth in the Inception Report and agreed that the Study Team would proceed to this stage of the Study in accordance with the methodology and schedule mentioned in the Interim Report (2).
2. According to the proposal of JICA that the Study Period should be extended for a year owing to the contents of the Pilot Studies, the Mongolian side agreed that the Study Period originally finished in March 2005 will be extended until March 2006.
3. According to the request of the Study Team, the Mongolian side agreed that the Mongolian side will arrange for the smooth transit of the Study Team in the Study Area (Dornogobi Aimag) for fear of influence by the foot and mouth disease.
4. According to the request of the Study Team, the Mongolian side agreed to consider the nomination of the necessary counterparts for additional two (2) members who are in charge of Rural Finance (1) Small and Medium-scaled Enterprises Business Administration and Small-scaled Processing of the Study Team.


N. BATSUURI Namsag
State Secretary
Ministry of Food and Agriculture,
MONGOLIA


FUJITA Takashi
Leader
Study Team
Japan International Cooperation
Agency (JICA)

Witnessed by


HIRAI Toshio
Resident Representative
Mongolian Office
Japan International Cooperation
Agency (JICA)



ANNEX

LIST OF PARTICIPANTS

Mongolian Side

Ministry of Food and Agriculture

Mr. N. BATSUURI Nansag

Mr. Ch. PUNTSAGSUREN

Dr. D. BATMUNKH

State Secretary

Head of Water Policy and Coordination Division,
Strategic Planning and Policy Department

Senior Officer, Strategic Planning and Policy
Department

Japanese Side

JICA Mongolian Office

Mr. HIRAI Toshio

Resident Representative

Study Team

Mr. FUJITA Takashi

Mr. KOGA Naoki

Ms. ISHIKAWA Akemi

Mr. HIROSHIGE Hideo

Team Leader/ Agro-pastoralism Development Planner

Animal Science and Steppe Management Expert

Pastoralist Organization Specialist

GIS Expert/Coordinator

Progress Report (2)

In accordance with the Scope of Work for the Study for Improvement Plan of Livestock Farming System in Rural Area in Mongolia (hereinafter referred to as "the Study"), the Government of Japan, through Japan International Cooperation Agency (JICA), dispatched the Study Team to Mongolia, headed by Mr. FUJITA Takashi, for the implementation of the Study. At the end of the 3rd field survey in the Phase III of the Study, the Study Team submitted officially twenty (20) copies of the Progress Report (2) in Mongolian language and five (5) copies in English explained a) the contents and results of the 3rd field survey in Phase-III Study, and b) the implementation of the Pilot Projects, c) the establishment of GIS database, and d) the succeeding methodology and schedule of the Pilot Study, in the presence of Mongolian organizations represented by Ministry of Food and Agriculture, Mongolia (MFA), on July 5, 2004 at the Head office of MFA.

As a result of explanation and exchange of opinions on the Progress Report (2), the Mongolian side and Japanese side agreed upon the following points:

1. The Mongolian side accepted that the contents of the Progress Report (2) were prepared in due compliance with the conditions set forth in the Inception Report
2. The Mongolian side agreed that the Study Team would proceed to the next stage of the Study in accordance with the methodology and schedule mentioned in the Progress Report (2).

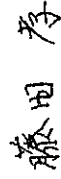
MINUTES OF MEETING ON PROGRESS REPORT (2) FOR THE STUDY FOR IMPROVEMENT PLAN OF LIVESTOCK FARMING SYSTEM IN RURAL AREA

IN MONGOLIA
AGREED UPON BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)
AND
MINISTRY OF FOOD AND AGRICULTURE MONGOLIA

Ulaanbaatar,
July 7, 2004



N. BATSURI Nantsag
State Secretary
Ministry of Food and Agriculture,
MONGOLIA



FUJITA Takashi
Leader
Study Team
Japan International Cooperation
Agency (JICA)

ANNEX

LIST OF PARTICIPANTS

Mongolian Side

Ministry of Food and Agriculture

Mr. N. BATSUURINANTSAG

Mr. I. HANMKHAN

Mr. Ch. PUNTSAGSUREN

Dr. D. BATMUNKH

State Secretary
Director of External Relations and Cooperation
Division, Strategic Planning and Policy Department
Head of Water Policy and Coordination Division,
Strategic Planning and Policy Department
Senior Officer, Strategic Planning and Policy
Department

Japanese Side

Study Team

Mr. FUJITA Takashi

Mr. KOGA Naoki

Ms. ISHIKAWA Akemi

Mr. KATABE Yuji

Mr. HIROSHIGE Hideki

Team Leader/ Agro-pastoralism Development Planner
Animal Science and Steppe Management Expert
Pastoralist Organization Specialist
Well Rehabilitation and Maintenance Specialist
GIS Expert/Coordinator

In accordance with the Scope of Work for the Study for Improvement Plan of Livestock Farming System in Rural Area in Mongolia (hereinafter referred to as "the Study"), the Government of Japan, through Japan International Cooperation Agency (JICA), dispatched the Study Team to Mongolia, headed by Mr. FUJITA Takashi, for the implementation of the Study. At the end of the 5th field survey in the Phase III of the Study, the Study Team submitted officially twenty (20) copies of the Progress Report (3) in Mongolian language and five (5) copies in English explained a) the monitoring and midterm evaluation results of the Pilot Projects b) the design of dairy products and shipment and sales project s, c) the succeeding methodology and schedule of the Pilot Study, in the presence of Mongolian organizations represented by Ministry of Food and Agriculture, Mongolia (MFA), on July 5, 2004 at the Head office of MFA.

As a result of explanation and exchange of opinions on the Progress Report (3), the Mongolian side and Japanese side agreed upon the following points:

1. The Mongolian side accepted that the contents of the Progress Report (3) were prepared in due compliance with the conditions set forth in the Inception Report
2. The Mongolian side agreed that the Study Team would proceed to the next stage of the Study in accordance with the methodology and schedule mentioned in the Progress Report (3).

MINUTES OF MEETING
ON
PROGRESS REPORT (3)
FOR

THE STUDY FOR IMPROVEMENT PLAN OF LIVESTOCK FARMING SYSTEM
IN RURAL AREA

IN MONGOLIA


AGREED UPON BETWEEN

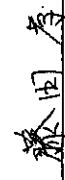
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)

AND

MINISTRY OF FOOD AND AGRICULTURE MONGOLIA

Ulaanbaatar,
December 13, 2004


BATSURI Nantsag
State Secretary
Ministry of Food and Agriculture,
MONGOLIA


FUJITA Takashi
Leader
Study Team
Japan International Cooperation
Agency (JICA)

(13)

ANNEX

LIST OF PARTICIPANTS

Mongolian Side

Ministry of Food and Agriculture

Mr. Ts. GANKHUYAG

Mr. N. BATSUURI

Mr. Ch. FUNTSAGSUREN

Mr. D. BATMUNKH

Vice Minister

State Secretary

Head of Water Policy and Coordination Division,
Strategic Planning and Policy Department

Senior Officer, Strategic Planning and Policy
Department

Japanese Side

Study Team

Mr. FUJITA Takashi

Mr. KOGA Naoki

Ms. HIROSHIGE Hideki

Mr. GOTO Koji

Mr. TEJIMA Shigeharu

Team Leader/ Agro-pastoralism Development Planner

Animal Science and Steppe Management Expert

Pastoralist Organization Specialist

Rural Finance and Small business management
Specialist

Coordinator

Progress Report (4)

MINUTES OF MEETING ON PROGRESS REPORT (4) FOR


THE STUDY FOR IMPROVEMENT PLAN OF LIVESTOCK FARMING SYSTEM IN RURAL AREA IN MONGOLIA AGREED UPON BETWEEN JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA) AND MINISTRY OF FOOD AND AGRICULTURE MONGOLIA


In accordance with the Scope of Work for the Study for Improvement Plan of Livestock Farming System in Rural Area in Mongolia (hereinafter referred to as "the Study"), the Government of Japan, through Japan International Cooperation Agency (JICA), dispatched the Study Team to Mongolia, headed by Mr. FUJITA Takashi, for the implementation of the Study. At the end of the 7th field survey in the Phase III of the Study, the Study Team submitted officially twenty (20) copies of the Progress Report (4) in Mongolian language and five (5) copies in English explained a) the monitoring and 2nd midterm evaluation results of the Pilot Projects, b) the succeeding methodology and schedule of the Study, in the presence of Mongolian organizations represented by Ministry of Food and Agriculture, Mongolia (MFA), on September 28, 2005 at the Head office of MFA.

As a result of explanation and exchange of opinions on the Progress Report (4), the Mongolian side and Japanese side agreed upon the following points:

1. The Mongolian side accepted that the contents of the Progress Report (4) were prepared in due compliance with the conditions set forth in the Inception Report.
2. The Mongolian side agreed that the Study Team would proceed to the next stage of the Study in accordance with the methodology and schedule mentioned in the Progress Report (4).

Ulaanbaatar,
September 28, 2005


BATSUURI Nantsag
State Secretary
Ministry of Food and Agriculture,
MONGOLIA


FUJITA Takashi
Leader
Study Team
Japan International Cooperation
Agency (JICA)

(4)



ANNEX

LIST OF PARTICIPANTS

Mongolian Side

Ministry of Food and Agriculture

Mr. N. BATSUURI

Mr. Ch. PUNTSAGSUREN

Mr. D. BATMUNKH

Mr. Yo Sambalkhandev

State Secretary
Head of Pasture-Crop Irrigation Division, Policy
Implementation Coordination Department
Senior Officer, Policy Implementation Coordination
Department
Senior Office, Information, Monitoring and Evaluation
Department

Japanese Side

Study Team

Mr. FUJITA Takashi

Mr. KOGA Naoki

Mr. TEJIMA Shigeharu

Mr. ISEZAKI Noriyuki


Mr. KATABE Yoji

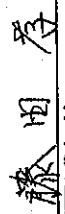
Mr. HIROSHIGE Hideki

Team Leader/ Agro-pastoralism Development Planner
Animal Science and Pasture Management Expert
Pastoralist Organization Specialist / Rural Finance (2)
Rural Finance (1) and Small business management
Specialist
Well Rehabilitation and Maintenance Specialist
GIS Expert / Coordinator


MINUTES OF MEETING
ON
DRAFT FINAL REPORT
FOR
THE STUDY FOR IMPROVEMENT PLAN OF LIVESTOCK FARMING SYSTEM
IN RURAL AREA
IN MONGOLIA
AGREED UPON BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)
AND
MINISTRY OF FOOD AND AGRICULTURE, MONGOLIA

Ulaanbaatar,
January 24, 2006


BATSURIN Nambag
State Secretary
Ministry of Food and Agriculture,
MONGOLIA


FUJITA Takashi
Leader
Study Team
Japan International Cooperation Agency
(JICA)

Witnessed by


MATSUBARA Masatake



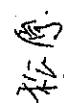
Leader
JICA Monitoring Team
Japan International Cooperation Agency
(JICA)

In accordance with the Scope of Work for the Study for Improvement Plan of Livestock Farming System in Rural Area in Mongolia (*in three Aimag in Gobi region*) (hereinafter referred to as "the Study"), the Government of Japan, through Japan International Cooperation Agency (JICA), dispatched the Study Team to Mongolia, headed by Mr. FUJITA Takashi, for the implementation of the Study. At the final stage of the Study, the Study Team submitted officially twenty (20) copies of the Draft Final Report in Mongolian language and five (5) copies in English and explained its contents with the strategy of Master Plan, in the presence of Mongolian organizations represented by Ministry of Food and Agriculture, Mongolia (MoFA), on January 18, 2006 at the Head office of MoFA.

Seminars on the Master Plan and results of Pilot Projects were held at Ulaanbaatar on January 19, 2006 and at Sainshand on January 21, 2006. Representatives from related agencies and the herders groups who are the participants of the pilot projects of the Study participated in the seminars.

As a result of explanation and exchange of opinions on the Draft Final Report (hereinafter referred to as "the Report"), the Mongolian and the Japanese sides agreed upon the following points:

1. The Mongolian side well understood that the contents of the Report were prepared in the compliance with the conditions set forth in the Inception Report.
2. The comments on the Report by the Mongolian side shall be collected and summarized by the responsibility of the Ministry of Food and Agriculture. And the comments shall be presented to the JICA Mongolia Office officially in written form by no later than February 20, 2006. The comments shall be presented in Mongolian and English.
3. The comments on the Report will be discussed between the both sides through JICA Mongolia Office. And the Final Report will be completed by no later than March 31, 2006 and be sent to the Mongolian side promptly.
4. The Mongolian side shall distribute the Final Report to the parties concerned. And the advisory committee headed by the Minister of Food and Agriculture will inform JICA Mongolia Office of its official decision.
5. Close communication between the both sides shall be maintained regarding the preparation of the Final Report.
6. The Mongolian side will make the best use of the Final Report in order to sustain the outcome of the Study and realize the action plans recommended in the Final Report.

ANNEX

LIST OF PARTICIPANTS

Mongolian Side Ministry of Food and Agriculture Mr. N. BATSUURI Dr. G. DAVAADORJ Dr. P. BAYANMUNKH Mr. Ch. PUNTSAGSUREN Dr. D. BAITMUNKH Ms. T. ERDENEJARGAL	State Secretary Director, Strategic Planning and Policy Department Director, Policy Implementation Coordination Department Head of Pasture-Crop Irrigation Division, Policy Implementation Coordination Department Senior Officer, Policy Implementation Coordination Department Senior Officer, External Cooperation Division
Japanese Side Japan International Cooperation Agency (JICA), Monitoring Team Dr. MATSUBARA Masatake	Leader
JICA, Headquarter Mr. TOYAMA Takashi	Project Officer
JICA Mongolia Office Ms. A. SAIKHANTUYA	Program Officer, JICA Mongolia Office
Study Team Mr. FUJITA Takashi Mr. KOGA Naoki Mr. TEJIMA Shigebaru Mr. HIROSHIGE Hideki	Team Leader / Agro-pastoralism Development Planner Animal Science and Pasture Management Expert Pastoralist Organization Specialist / Rural Finance (2) GIS Expert / Coordinator



松原

添付資料 - 3

参加者リスト

List of JICA Study Team Member

Position	Name
Team Leader/Agro-pastoralism Development Planner	Fujita Takashi
Animal Science / Pasture Management Expert	Koga Naoki
Nomadic Pastoralism Socio-Economy Specialist	Ayurzana Enkh-Amgalan
Pastoralist Organization Specialist / Rural Finance (2)	Ishikawa Akemi Tejima Shigeharu
Hydrogeologist-1/ Water Quality Specialist	Yamamoto Norifumi
Hydrogeologist-2/ Well Construction Manager	Oga Hiroyuki
Geophysicist	Saito Akira
Well Rehabilitation and Maintenance Specialist	Katabe Yuji
Rural Finance (1) / Small Business Management Specialist	Goto Koji Ishizaki Noriyuki
Hides and Skin Processing	Davaasambuuj Dejid
GIS Expert / Coordinator	Hiroshige Hideki

List of Mongolian counterpart personnel

Institution	Name	Position
Ministry of Food and Agriculture	N. Batsuuri	State Secretary
	G.Davaadorj	Director of Strategic Planning & Policy Department
	Ch. Puntsagsuren	Head of Pasture-Crop Irrigation Division, Policy Implementation Coordination Department
	D. Batmunkh	Senior Officer, Policy Implementation Coordination Department
Geo ecology center	N. Jadambaa	Senior scientist
Livestock research center	S, Tserendash	Chief of Steppe and Fodder sector
	B. Minjigdorj	Chief of Livestock sector
Mongolian National University	T. Ulaanbaatar	Doctor

